

令和 7 年 4 月 17 日

(※受付番号)

大阪市総合教育センター
教育振興担当 実践研究グループ
首席指導主事様

研究コース
A グループ研究 A
校コード (代表者校の市費コード)
732663

代表者	校 園 名 :	大阪市立大和川中学校
	校園長名 :	吉本 恵美
	電 話 :	06-6694-0005
	事務職員名 :	福山 大志
申請者	校 園 名 :	大阪市立大和川中学校
	職名・名前 :	校長 吉本 恵美
	電 話 :	06-6694-0005

令和7年度「がんばる先生支援」申請書

◇本研究の支援を受けたく、次のとおり申請します。

1	研究コース	コース名	A グループ研究 A	研究年数	新規研究 (1 年目)
2	研究テーマ	「命を考える」教育活動を柱とした平和維持学習 ～ 『自律する力、他者を尊重し思いやる心』の育成 ～			
3	研究目的	テーマに合致した目的を項立てして記載してください。 本校は、すべての生徒が安心して安全に学習できる教育環境の実現を図るために数年前の大きな学校崩壊からの学校再建として「秩序構築」をテーマに1年生入学時に宿泊オリエンテーションを取り入れ、「時を守り、場を清め、礼を正す」の自主自律の精神の育成、また「命を考える」教育活動の柱とした「平和維持学習」に取り組んでいる。生徒が主体となる様々な教育活動で、健康でたくましく「自律する力、他者を尊重し思いやる心」の育成を「チーム大和川中学校」として進めている。授業規律の徹底を基盤とし、考える力の素地となる基礎学力の定着、併せて学力向上を目指し、前期・後期の2期制継続や令和5年度より「国語」「数学」「英語」の全学年での習熟度別授業で「ひとり一人の学びを最大限引き出す、個別最適な学びの実現」を図り、生徒一人ひとりが「学びへの意欲」や「学ぶこと、考えることの楽しさ」を感じることのできる授業づくりに全教員が取り組んでいる。前述のように、平和維持学習の研究を通して、教員の資質や指導力の向上を図る。また、これらを本校独自の教育活動でとどめることなく、発信することで取り組みについての理解や各学校現場に応じた普及および本校の教育のさらなる発展を目的とする。			
4	研究内容	(1)研究内容の詳細 ※継続研究2年目以降は1年目の記載をコピーして貼付する 【平和維持学習 = 「身近な平和」】 本校では、学校行事である文化発表会で「命の学習」を各学年が劇として披露している。1年生は豚や牛などを題材に学習し「生き物の命をいただく」ことをテーマに「生」について、2年生は震災学習をテーマに「死」について、3年生は修学旅行で訪れる知覧特攻平和会館で学んだことを生かし、第2次世界大戦での特攻隊をテーマにした学年劇を行う。「常に他者を意識し考えて行動しよう」との目標の下、「ごめんね」「ありがとう」を謙虚な姿勢で素直に言うことを日常の中で教えている。ただ劇をするだけでなく、日々の自分に置き換え、学校生活でなら、クラスでのトラブルやいじめについて考えるきっかけにし、攻撃することや仲間ははずれにしたりすることで相手がどんな気持ちになるのか、想像力を養い、それに対して「ごめんね」「ありがとう」を言えることや家族などの大切な人への想いや感謝を素直に伝えたり、表現できることが身近な平和であり、この身近な平和を維持する学習こそが「平和維持教育」と考える。修学旅行での平和セレモニーは1年生と2年生をオンライン中継で繋ぎ、全生徒で平和維持の大切さを学んでいる。教職員が、この取り組みを中学校教育活動プログラムとして、3年間の流れを意識しながら教え、チームとして一貫した教育活動や教職員自身の資質向上や指導力の向上を図る。 【宿泊オリエンテーション】 新入生は入学後すぐの宿泊オリエンテーションで、「学校生活について」「授業の受け方」「集団行動」などのガイダンスを受講。「時を守り、場を清め、礼を正す」をテーマに児童から生徒への意識改革を行い、授業規律の徹底を図る。2年生・3年生も同様に新年度当初にガイダンスを行う。 【研究授業等】 年間の研修計画は、主任会（教育課程委員会を兼ねる）や教務部が中心となって作成し、授業研究および人権問題を踏まえた外国人教育、道徳、特別支援教育、生活指導、性教育、アレルギーなどの研修会を計画し、実施予定である。研究関係では、校園内研修事業にのっとり、年間延べ70回以上の授業研究、参観と研究協議を伴う公開授業を行い、教員各自の授業力向上に継続して努める。授業は基本的にアクティブラーニングやICT活用を目指し、新教育振興基本計画の基本的な方向性である「誰一人取り残さない学力の向上」に努める。また『学力向上支援チーム事業』に意欲的に取り組み、継続して生徒一人ひとりの状況把握と学力向上を図る。 【前期・後期の2期制の継続】 授業時数の確保、またゆとりを持たせた教育課程の推進（とりわけ5教科）において、単元テストの実施。単元ごとの学びを振り返り、確認を反復することで今後も、より確実に効果的な学びの定着を図る。分からないことを分からないままにしない、間違った知識をもとにした学びを積み重ねないようにする。2期制のメリットとして、夏季休暇や冬季休暇の長期休暇を前期・後期の流れの中で、学びを止めない意識も高められ、生活指導面においても学校生活で整えられた生活リズムを大きく崩すことなく、学校生活の延長として捉える生徒も少なくない。 【習熟度別指導授業の推進】 特に数学・英語においては、習熟度別指導授業やteam teachingの充実に努める。細かく生徒の学びの理解度や習熟度を把握したクラス編成で生徒一人一人に合わせた「個別最適な学び」の推進を継続する。また各教科で小テストを実施し、「生徒のつまづき」に気づき、教員も授業改善、授業力向上に主体的に取り組み、専門性の深化を図る。「知る・分かる楽しさ、学ぶ楽しさ」を生徒が感じ、やる気から本気へさせ、またそんな生徒の意欲的でワクワク感を体感し、「教える喜び」を感じる教員を増やしたいと考えている。 (2)継続研究 [2 年目] ※継続研究3年目の場合は、2年目の記載をコピーして貼付する (3)継続研究 [3 年目]			

5	活動計画	<p>日程や内容など、研究の過程がわかるように詳細に記載してください。</p> <p>4月 【校内研修・研究協議】「意識付け」～研究テーマ、研究計画、見込まれる成果等についての検討～ 【学校研修および学年行事】「1年生 宿泊オリエンテーション」 ・全教職員の学校研修として教育方針や学校経営指針の共通理解、行動の連携を図る。</p> <p>5月 【授業研究会】「いじめ・いのちについて考える日」 ・生徒会を中心とし、生徒主体の「命」の学習を実施</p> <p>6月 【学年行事】「2年生 一泊移住」 「3年生 修学旅行」⇒ 平和維持学習アウトプット&平和維持学習(平和セレモニー)中継</p> <p>7月 【校内研修】・授業アンケート、生活アンケートの実施・分析</p> <p>10月 【がんばる先生支援 公開授業】「文化発表会」 @指導講評 大阪市教育委員会 ・1年生 「いのちの誕生」～いのちのつながり～ ・2年生 「震災学習」～救えなかった命 & 命を守る～ ・3年生 「平和維持」～生きたくても生きれなかった命～ ⇒『繋ぐ命』『生かされている命』</p> <p>11月 【研究発表】「体育大会」 @指導講評 大阪市教育委員会 【校内研修】・授業アンケート、生活アンケートの実施・分析</p> <p>12月 【学校行事】「校外学習」「芸術鑑賞」</p> <p>2月 【校内研修】・授業アンケート、生活アンケートの実施・分析 ・学力経年調査の結果分析 ・がんばる先生支援報告書作成・提出 @指導助言 大学教授を招聘しての研究講評</p> <p>3月 【校内研修】「研究のまとめ」～次年度へむけて、本年度の成果と課題の共通理解～</p> <p>★校内研修…授業研究や授業参観、研究協議など、<u>年間のべ70回以上</u>を予定 ★学力向上…学びサポーターの採用および導入、放課後また、長期休暇を活用した補習学習 ★ICT活用…スタディサプリ(学習動画コンテンツ配信モデル事業 モデル校)、SKY MENU、コラボノート、SKY MENU、BASE in OSAKA、AIアプリ「クラスクラウド」を先進的かつ積極的に活用 ★あいさつの花PJ…昨年度、取り組んだ「はるかひまわりPJ」の「いのち」と「あいさつ」の大切さを含め、本校の教育活動を教職員や生徒が一つのチームとして今後も継承し続ける。</p>
		<p>出張を伴う研究会への参加、外部講師を招聘する研修会の実施等、経費執行が必要な取組内容を記載してください。</p> <p>・全国での実施される「いのち」をテーマにした講演や研究発表会への参加、また、場所や記念館などを見学し、得た知見をもとに研究を深め、学校経営の継承や教育活動の普及を推進する。 ・各教科や教育活動における実践研修会や授業見学に参加し、得た知見を授業力向上に生かす。</p>
6	見込まれる成果とその検証方法	<p>(1)継続研究(2年目、3年目)において検証方法の変更の有無を記入してください。</p> <p><input type="checkbox"/> 変更しない。理由</p> <p><input type="checkbox"/> 変更する。</p> <p>(2)大阪市教育振興基本計画に示されている、「<u>子どもが心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓く力</u>」の育成および、「<u>教員の資質や指導力</u>」の向上について、それぞれ見込まれる成果を端的に記載し、その成果について客観的な指標により、必ず数値で示すことができる検証方法を記載してください。(いずれかに☑を入れてください)</p>
		<p>【見込まれる成果1】</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 「子どもが心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓く力」の育成 <input checked="" type="checkbox"/> 「教員の資質や指導力」の向上</p> <p>全教職員で「命を考える」教育活動を図り、いじめ・差別を許さない学校づくりを推進する。定期的ないじめアンケート調査や生徒教育相談、また保護者懇談、家庭訪問等の実施で、一人一人の生徒情報を丁寧に把握し、共通理解および適切な指導を進める。</p> <p>《検証方法》 大阪市教育振興基本計画に掲げる「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う」の項目に対し肯定的な回答を95%以上にする。(昨年度：95.3%)</p> <p>【見込まれる成果2】</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 「子どもが心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓く力」の育成 <input checked="" type="checkbox"/> 「教員の資質や指導力」の向上</p> <p>「秩序構築」をテーマに取り入れている新入生入学時の宿泊オリエンテーションを全教職員必修の学校研修とする。「時を守り、場を清め、礼を正す」の自主自律の精神の育成、他者を尊重し思いやる心の育成を「チーム学校」として取り組む。</p> <p>《検証方法》 校内生活アンケートにおける「学校では命を大切にし、人権を尊重する心と態度を育てるための学ぶ機会が多くある」の項目について、肯定的に答える生徒の割合を昨年度より増加させる。(昨年度：92.8%)</p>

6	見込まれる成果とその検証方法	<p>【見込まれる成果3】</p> <div><input checked="" type="checkbox"/> 「子どもが心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓く力」の育成</div> <div><input checked="" type="checkbox"/> 「教員の資質や指導力」の向上</div> <p>授業規律の確立と学びの環境づくりを目指す。特に学習習慣の定着していない生徒の学習に対する意欲を引き出し、基礎学力の向上に努める。また、自ら学習ツールや教材を選択し、主体的に学びに取り組む生徒の育成に取り組む。</p> <p>《検証方法》</p> <p>授業アンケートにおける「授業に一生懸命に取り組んでいる」の項目に対し肯定的な回答を95%以上、「授業はわかりやすい」の項目に対し肯定的な回答を90%以上にする。</p>						
7	研究成果の共有方法	<p>◆研究発表【必須】 報告書提出日までに必ず行ってください。</p> <p>○研究発表の日程・場所（予定）</p> <table><tr><td>日程</td><td>令和 7 年 10 月 2 日</td><td>場所</td><td>本校 体育館</td></tr></table> <p>◆【必須】 wakū.com-bee掲載による共有</p> <p>○掲載の日程（予定）</p> <table><tr><td>日程</td><td>令和 8 年 2 月 20 日</td></tr></table> <p>◆他の共有方法を計画している場合は記載してください。</p>	日程	令和 7 年 10 月 2 日	場所	本校 体育館	日程	令和 8 年 2 月 20 日
日程	令和 7 年 10 月 2 日	場所	本校 体育館					
日程	令和 8 年 2 月 20 日							
8	代表校園長のコメント	<p>1. 新規研究（1年目）</p> <p>数年間続いた大きな学校崩壊（教育困難校。生徒指導ができない教育現場。）から今の学校再建へと変容を成し遂げるため、積み重ねてきた実践、そして、実績となる教育活動を今後、継いでいくために支援を強く願います。</p> <p>今後も継続的に実践を積みあげることで、子どもが自己肯定感を持ちながら主体的に行動でき、心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓く力を身につける教育活動のスタンダード、また更に発展的に教育活動を充実させることができると考えています。それぞれの学校現場の状況や課題に応じた取り組みを取捨選択できるようにと考えているが、教育活動の基本・基盤は本校の取り組みであり、教育の真の「志」を普及を推進していきたいと考えます。</p> <p>2. 継続研究（2年目）</p> <p>3. 継続研究（3年目）</p>						